

町内でも生息が確認されている特定外来生物（魚類）

写真提供 *環境省

● オオクチバス・コクチバス（ブラックバス）（雪窓湖で生息が確認されています）



オオクチバス*

オオクチバスの特徴

- 体長は30～50cm程度
- 体は灰緑色で背中側はやや黒く、腹側は白～黄色を帯びます。体の側面には、不規則なまだら模様があります。
- 口が大きく、目よりも後ろ側まで割けています。



コクチバス*

コクチバスの特徴

- 体長は30～50cm程度
- 口が小さく、体の側面に8～15本の不規則な横帯が入ります。

● ブルーギル（雪窓湖で生息が確認されています）

- 体長は20cm程度
- 体は緑褐色で10本ほどの細い縦縞模様があります。
- 1番の特徴は、えらぶたにある紺色の丸い模様です。



雪窓湖で捕獲されたブルーギル



ブルーギル*

どうすればいいの？

釣った場合は、その場でしっかり殺処分し、生ごみとして処分してください。

生息している河川、湖沼からオオクチバス・コクチバス（ブラックバス）やブルーギルを、生きたまま運んだり、別の場所に放したり、飼育したりすることは、外来生物法で禁止されています。

どんな影響があるの？

在来魚の生育環境を奪ったり、在来魚のエサを食べてしまったりします。

また、小魚などの激減により、水鳥の生息数が減少となっています。

特定外来生物の被害を予防するために私たちができること

外来生物被害予防三原則

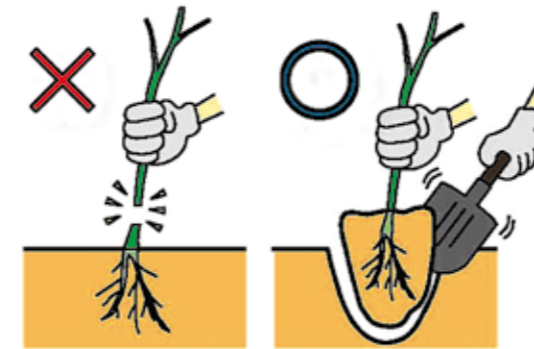
- 1 入れない** 生態系への悪影響を及ぼすかもしれない外来種はむやみに入れない
- 2 捨てない** すでに飼育・栽培している外来種を適切に管理し、捨てない
- 3 拡げない** すでに野外にいる外来種を他の地域に拡げない

外来生物についての詳細は以下のホームページをご覧ください。
環境省「日本の外来種対策」
<https://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>



問い合わせ先 町民課環境衛生係(32)3114

特定外来生物とは？



もともとその地域になかったのに、人間の活動によってほかの地域から入ってきた外来生物のうち、生態系などに被害を及ぼすもの、また及ぼす恐れのあるもので、外来生物法に基づいて指定された生物のことです。

町内でも生育が確認されている特定外来生物（植物）

写真提供 *環境省 **長野県環境保全研究所

● オオキンケイギク（町内居住エリア全域で生育が確認されています）



花*



葉

- 毎年5～7月ごろに黄色い花を咲かせるキク科の多年草です。
- 開花した花は高さ30～70cmほどになります。
- 花びらの先は、不規則に分かれています。
- 葉は細長く、へら状で粗い毛が両面に生えています。

● アレチウリ（町内川沿い、農地などで生育が確認されています）



葉*



花**



果実**

- 芽生えが5月ごろから10月ごろまで続くウリ科の一年草です。
- 葉はかぼちゃの葉に似た五角形で、長いものはつるが10m以上にまで成長します。
- 花期は8月から10月ごろまで、9月ごろから種子をつけはじめ、10月下旬には果実が落ちます。

どうすればいいの？

根ごと、しっかり抜き取ります。土の中に根を残さないようにします。可燃ごみとして処分してください。ごみ袋の口はしっかりしばってください。

どんな影響があるの？

繁殖力が強いため、ほかの植物の成長を阻害し、在来植物を減らしてしまいます。

オオキンケイギク、アレチウリは繁殖力が強いため、根気強く抜き取りなどをする必要があります。
生態系保護のため皆さまには駆除へのご協力をお願いします。

身近に迫る特定外来生物

生態系保護のため必要な対応策を知ろう